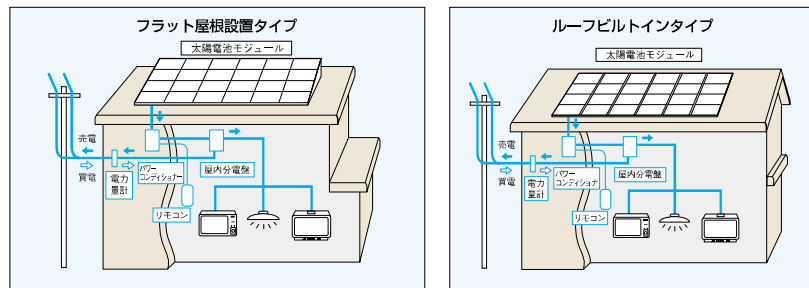


太陽光発電システム



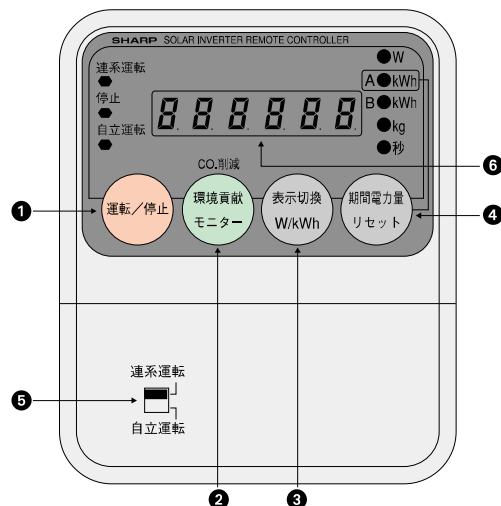
お手入れのポイント

- 太陽光発電パネル表面はガラスで出来ており、パネル上に積もった砂・ホコリなどの汚れは雨で洗い流されるので、発電効率に大きな変化はありません。
- 太陽光発電パネルに乗ったり、ハシゴを使って掃除をしたりすると、パネル本体の破損や、転落の恐れがあります。鳥の糞などでパネル表面が汚れた場合には、アフターサービス部門にご相談ください。



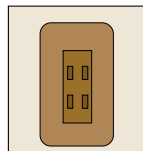
リモートコントローラ (シャープ製)の操作方法

リモートコントローラにはタイプが2種類あります。
設置されたものが三菱電機製の場合はP142をご覧ください。



各部名称

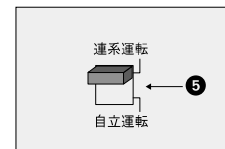
- 1 運転/停止スイッチ
- 2 環境貢献モニタースイッチ
- 3 表示切換W/kWhスイッチ
- 4 期間電力量リセットスイッチ
- 5 運転モードスイッチ
- 6 表示パネル



自立運転専用コンセント
通常のコンセントと色が
ちがいます (茶色)

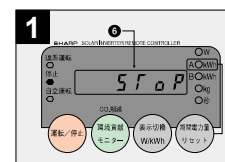
●運転設定

運転/停止スイッチ①は運転状態のまま、運転モードスイッチ⑤は連系運転のままにしてお使いください。自立運転にすると太陽光で発電した電力を家庭内に供給したり、余剰電力を電力会社に売ったりすることができません。お子さまのいたずらなどにご注意ください。

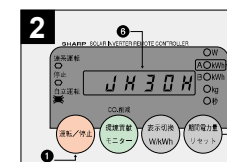


●停電時の太陽光発電の使い方

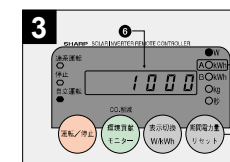
太陽光発電システムは、停電すると自立運転専用コンセントを利用して電気機器を使用することができるようになっています (自立運転)。



運転モードスイッチ⑤を「自立運転」にすると、リモコンの表示パネル⑥に「Stop」と表示され「停止ランプ」が点灯します



運転/停止スイッチ①を押すと、「自立運転ランプ」が点滅し、表示パネル⑥に「JH30H」または「JH40H」と表示されます



自立運転コンセントに接続された機器の消費電力よりも、太陽光発電用パワーコンディショナの出力電力が大きければ、自立運転が開始され、表示パネル⑥には供給電力が表示されます

【自立運転の条件】

日中で太陽電池が発電しており、自立運転専用コンセントに接続した電気機器の消費電力がパワーコンディショナの供給電力よりも小さい時、自立運転を開始します。この条件以外では自立運転しません。

【自立運転の停止】

運転/停止スイッチ①を再び押すと、表示パネル⑥に「Stop」と表示され「停止ランプ」が点灯。自立運転を停止します。

⚠ 感電の原因になります

- ・自立運転出力を商用電力線につながないでください。
- ・自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで接続しないでください。

⚠ 事故の原因になります

- ・太陽電池モジュールのガラス面には絶対に乗らないでください。
- ・台風シーズンの前や、地震、強風の後には、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないか、アフターサービス部門にお申し付けのうえ、お調べください。
- ・自立運転専用コンセントに下記に示す電気製品をつながないでください。自立運転時の発電電力は天候により急変し、途中で電源が切れる恐れがあります。(すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器、パソコン・ワープロ等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器・電子レンジ等の調理機器、その他電源が切れると生命や財産に損害を受ける恐れのある機器)